

## 公立大学法人秋田県立大学教員募集要項

1. 職名及び人員 教授 1名
2. 所属 システム科学技術学部 建築環境システム学科 計画学講座
3. 専門分野 建築計画分野, 都市・建築デザイン分野  
当該分野の研究・開発に取り組むとともに、その成果を地域貢献に結びつける意欲を持ち、建築計画と設計に関する教育に熱心に取り組む方を求めます。
4. 担当授業科目 (学 部) 都市・建築計画学概論, 建築計画と風土, 建築計画Ⅰ・Ⅱ, 建築設計Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ, 建築学研修, 卒業研究の指導など  
(大学院) 都市・建築設計論, 都市・建築史論, 建築環境システム学専門セミナー, 修士論文の指導など
5. 応募資格 (1) 博士の学位を有し研究上の業績を有すること, または一級建築士等の資格を有し顕著な実務業績を有すること  
(2) 大学における教育を担当するにふさわしい教育上の能力を有すると認められること  
(3) 当該分野の教育と研究に熱意を持っていること, 地域貢献にも意欲を持っていること  
(4) 国籍は問わないが, 日本語が堪能であること  
(5) 採用が決定した場合, 確実に着任できること
6. 採用予定日 令和4年4月1日
7. 勤務条件等 (1) 身分 公立大学法人職員  
(2) 給与 職位・業績・職務内容に応じた年俸制 (本学給与規程による。)  
(3) 勤務 裁量労働制  
(4) 任期 5年の任期制 (再任回数に制限なし)  
※博士の学位を有しない場合は, 3年以内の任期制 (再任回数に制限なし) となります。  
(5) 定年 67歳
8. 応募書類 (1) 履歴書 (本学所定の様式1による。\*)  
(2) 研究業績書 (本学所定の様式2による。\*) 学術論文は, ①学術論文 (査読付き), ②国際会議発表論文 (査読付き), ③その他 に分類して記載してください。これに加えて, 作品ポートフォリオ (様式指定なし) の添付も可とします。  
(3) 主要論文5編 (コピー可) ※論文と同等と考えられる設計作品等の実績は, 1件あたり論文1編としてみなすことができるものとします。  
(4) これまでの研究, 教育及び社会活動 (地域貢献を含む。) の概要 (1000字程度)  
(5) 教育に対する抱負 (1000字程度)  
(6) 研究・地域貢献に対する抱負 (1000字程度)  
(7) 応募者について意見を求めることができる推薦者2名の氏名と連絡先  
(8) 科研費等外部資金獲得の実績がある場合は, 過去5年間における獲得状況の一覧  
注) \*印: 履歴書 (様式1) 及び研究業績書 (様式2) については,  
ホームページ (<https://www.akita-pu.ac.jp/about/saiyo/>) をご参照ください。
9. 応募締め切り 令和3年10月25日 (月) 必着
10. 選考方法 (1) 第一次選考 提出書類審査, 学部選考委員会による面接  
(2) 第二次選考 プレゼンテーション, 役員による面接  
※第一次選考の学部選考委員会による面接はオンラインで実施する場合があります。  
※面接の旅費等は自己負担となります。
11. 応募書類の提出先及び問い合わせ先  
(1) 提出先 〒015-0055 秋田県由利本荘市土谷字海老ノ口84-4  
秋田県立大学システム科学技術学部 本荘キャンパス 教員選考委員長 水野 衛  
※封筒の表に「建築環境システム学科教員応募書類在中」と朱書きし, 簡易書留で送付してください。  
応募書類は返却しません。  
(2) 問い合わせ先 〒015-0055 秋田県由利本荘市土谷字海老ノ口84-4  
秋田県立大学システム科学技術学部 建築環境システム学科長 長谷川 兼一  
TEL: 0184-27-2046 (ダイヤルイン), E-mail: haseken@akita-pu.ac.jp
12. その他 本学は、女性の職業生活における活躍の推進に関する法律に基づき、女性活躍のための支援、環境整備に努めており、女性研究者の積極的な応募を歓迎します。

(次世代育成支援対策推進法及び女性活躍推進法に基づく公立大学法人秋田県立大学一般事業主行動計画):

[https://www.akita-pu.ac.jp/up/files/www/about/houjin/keikaku/20210317\\_koudou02.pdf](https://www.akita-pu.ac.jp/up/files/www/about/houjin/keikaku/20210317_koudou02.pdf)

## 今回の公募で求める人材像

建築環境システム学科では、学科の研究教育方針に基づいて計画学講座の果たすべき役割と今後の発展を見据えた体制を鑑み、建築設計を専門とし、現在の構成員と協働して都市・建築計画学分野の研究・開発や教育、地域貢献に意欲を持って取り組める人材を求めます。

各領域に関しての具体的な人材像は下記の通りです。

### [教育]

建築環境システム学科の教育カリキュラム上、計画学講座の果たす役割は、新たな社会ニーズにも対応できる都市・建築空間のあり方とその実現に向けた建築計画技術の応用などの教育を行うことです。講座の一員として教育を行う上で、計画学の幅広い領域をカバーでき、とりわけ建築設計の専門性を有して各種の設計教育と計画学教育が可能な人材を求めます。

### [研究]

建築・都市の概念の拡張が進みつつある中、機能性や審美性のみならず持続可能な社会形成に寄与する建築計画学の研究が求められています。計画学講座が建築レベルや都市レベルの空間計画、市民まちづくりなどの幅広い領域に対して社会科学の知見も応用して研究を進めている中、とりわけ建築計画・設計の分野において Society5.0 の時代をリードする研究に取り組む人材を求めます。

### [地域貢献]

計画学講座では、地域や既存建物を対象に市民、企業、行政と協働した研究・教育活動を展開しており、それ自体が地域の安全・快適や地域資源の活用、地域活性化に結びつく地域貢献となり、P.B.L.の取り組みともなっています。これらの活動に積極的に取り組める実践的な人材を求めます。

本学は、女性の職業生活における活躍の推進に関する法律に基づき、女性活躍のための支援、環境整備に努めており、女性研究者の積極的な応募を歓迎します。

# 建築環境システム学科 講座・研究グループ構成

2021.4

基本方針： 建築環境システム学科は、4講座・4研究グループ体制とし、

- ① 建築学における主要な領域の総合教育を系統的に分担し、充実させる。
- ② グループ内での課題共有意識を高め、さらに境界を超えた研究活動を意識的に展開し、活性化を図る。

## 構造学講座

### ●建築構造学研究グループ

構造計画・設計、構造解析・評価、鉄筋コンクリート構造、鋼構造、免震・制振構造  
各種構工法

## 材料学講座

### ●建築材料学研究グループ

材料物性・耐久性評価、木質系材料・木質構造、コンクリート系材料・工法開発

## 環境学講座

### ●環境計画学研究グループ

環境設計、物理・生理環境評価、設備計画

## 計画学講座

### ●都市・建築計画学研究グループ

都市・地域計画、建築史・伝統構法、都市・建築設計、建築施設計画  
都市環境・情報システム